

# 教育データの活用で 自分らしい学びを支える

[ Anticipation/Action/Reflection ]



# 第1章 AARポータルを知る

AARポータルの概要	04
AARポータルの機能紹介	06
STORY 01 写真に撮って学びを記録する	08
STORY 02 振り返りを次の授業につなげる	10
STORY 03 スタディログをもとにした 振り返り・情報共有	12

## 第2章 使う前の準備をする

活用初年度のスケジュール	-----	14
POINT 01 先行導入校の決定	-----	18
POINT 02 目標設定/活用推進体制づくり	-----	19
POINT 03 校内検討会	-----	20
POINT 04 AARポータル事前設定	-----	21
POINT 05 振り返り・効果測定	-----	22
お助けキット集	-----	23

# AARポータルの概要

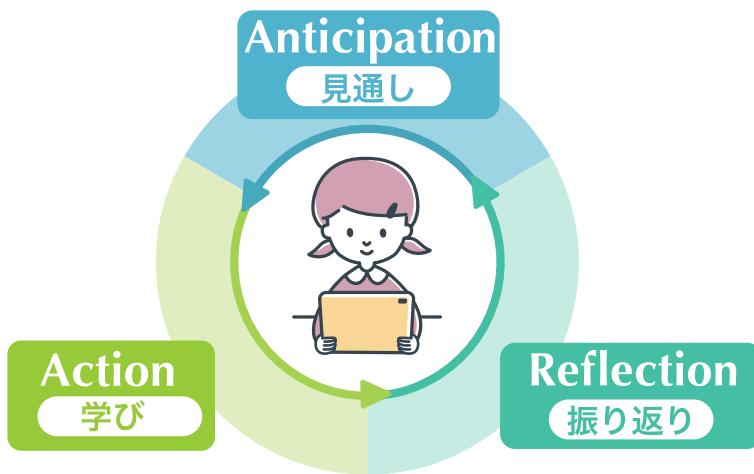
## AARとは？

### 主体的に学習を調整しながら進めていくサイクルのこと

見通し（Anticipation）、学び（Action）、振り返り（Reflection）を通して学びを進めていく仕組みのことと、OECDや文科省も学習者を中心とした学びとしてこのサイクルを提唱しています。

## AARポータルで目指すこと

まなびポケットのAARポータルは、児童生徒が時間割をもとに授業の見通しを立て、学習の過程を記録し、振り返る機能により、AARサイクルの導入をより簡便かつ効果的に実現します。授業や学校行事などの場面において、児童生徒がAARサイクルを実践していくことで、自律性や自己効力感を高め、「自分らしく学ぶ」状態に近づくことを目指します。



まなびポケットは、「誰もが自分らしく学べる社会」の実現に向けて、「子どもたち自身のデータ活用」を実現させるために「AARポータル」を提供します。

誰もが自分らしく学べる社会とは？

学習者の意思(Why)に寄り添い、データが導く特性(Who)と掛け合わせ、自分らしい学び[何を(What)・いつ(When)・どこで(Where)・誰と(with Whom)・どうやって(How)]を誰もが選択できる社会と定義しています。

OECDが公表した「OECD Learning Compass 2030」や、文科省が公表した「令和の日本型教育」では、学習者を中心とした学びの実現が強調されています。学習指導要領にある「学ばなければならないことと、学習者が「主体的に学ぶ」ことを融合させた、学習者を中心とした学びを実現させていくことが求められています。

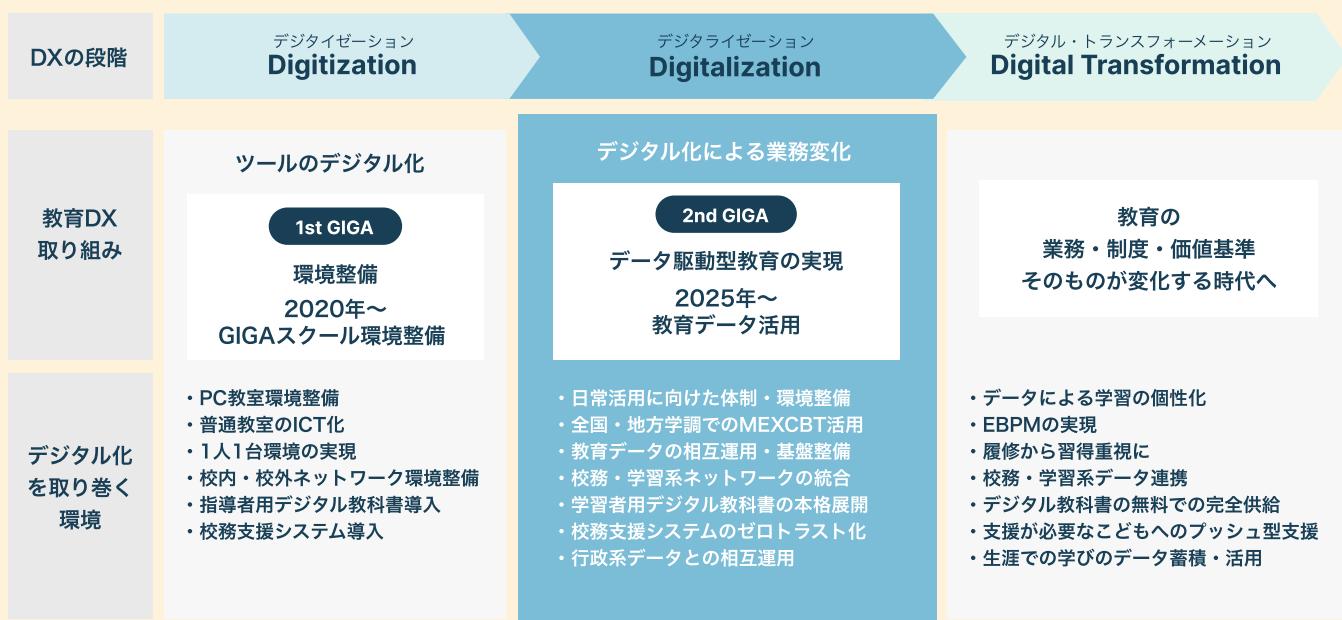
### 学習者を中心とした学びの実現



時代の流れ

### GIGAスクール構想のネクストステップ

2020年からスタートしたGIGAスクール構想第一期（1stGIGA）では、教育現場でのツールのデジタル化が行われました。2025年以降のGIGAスクール構想第二期（2ndGIGA）では、デジタル化によって教員の働き方を改革し、データ駆動型教育によって学びを変えていくことが必要です。



# AARポータルの機能紹介

## AARポータル



時間割から一週間の授業や予定を把握して見通しを立てる



時間割から授業を選択すると、授業で使うコンテンツにアクセスして、学びを始められる



授業ごとに黒板やノートを写真に撮ったり、振り返りを入力したりして、学びの記録を残す

**STORY 01 (P.8参照)**  
写真に撮って学びを記録する



**STORY 02 (P.10参照)**  
振り返りを次の授業につなげる



## AARポータルが目指す未来

### まなびポケットダッシュボードと連携

データ連携によって、多様なスタディログを分析・可視化

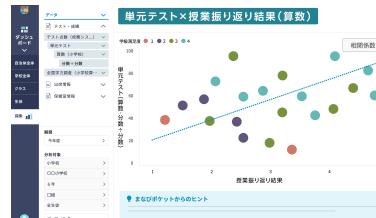


デジタル教材・ツールの  
学習記録が自動連携

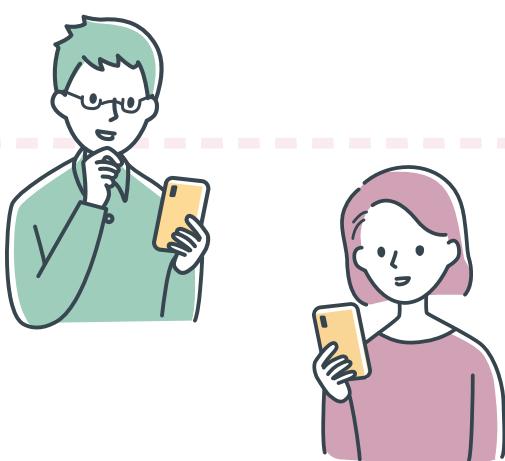
#### 日々の状態把握



#### データ分析



データ連携によって  
AARポータルの  
活用の幅が広がる！



### 保護者への定期レポート

写真やスタディログといった学校での取り組みを保護者へ  
自動配信



**STORY 03 (P.12参照)**  
スタディログをもとにした  
振り返り・情報共有

※各種デジタル教材・ツールとの連携、ダッシュボード連携および  
保護者への定期レポートは今後提供予定のため画面イメージは変更  
になることがあります。

STORY 01

# 写真に撮って学びを記録する

授業中

児童生徒が  
写真を撮影



撮影した写真は時間割に反映したり  
共有したりできる



A screenshot of the AAR portal's schedule view. The schedule is a 6x5 grid representing a week from Monday to Friday. The fifth column is labeled '算数' (Math). A red box highlights a photo of a student working on a math problem, which is overlaid on the Math class slot for Friday.

○月■日(金) 1時間目 算数



Before



児童生徒へのコメントも可能！  
ノート回収・返却や、記録用の  
コメントの転記も不要！

After



## 授業終わり・放課後

写真をもとに  
振り返りを入力



授業終わりに  
振り返りを入力

児童生徒

児童生徒が  
学習の記録として  
登録した写真を確認可能！

授業の理解度や満足度  
振り返りの記述も  
時間割から  
いつでも確認！

スタンプやコメント機能  
で児童生徒に簡単に  
フィードバック！



先生



STORY 02

# 振り返りを次の授業につなげる

## 授業終わり・放課後

### 児童生徒の振り返り内容・写真の確認

#### 写真

この時間の写真

[ギャラリーを見る→](#)

今日の板書写真を  
次回の授業の冒頭に見せて  
振り返りをしよう

#### 感想・コメント

わかった / できた

3

楽しかった

5

とても楽しかったです。10が増えるとよくわからなかった。

Cくんのコメントは  
明日の授業の導入として  
活用できそうだから、  
発表をお願いしようかな

#### 授業の理解度・満足度

この時間の振り返り

グラフを表示

わかった / できた  
20/40名

4.5

前々回: 4.3 前回: 4.1

楽しかった  
20/40名

4.3

前々回: 3.8 前回: 4.0

今日の授業はみんな  
理解できていそうだな



## ● 次回の授業

### 先生自身の指導評価や授業設計（計画）への活用

授業の導入時に

前回の授業の写真や

児童生徒のコメントを提示したり

発言を促したりしながら授業を展開

児童生徒の振り返りや板書の写真などを  
電子黒板に投影して、復習に活用！



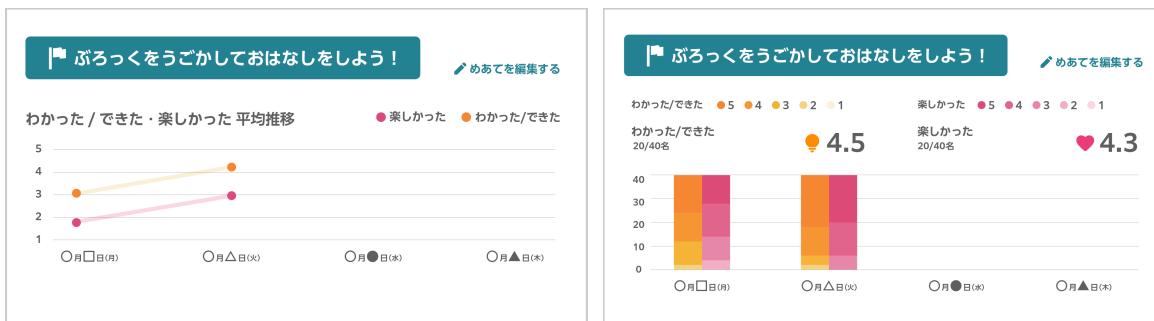
## STORY 03

## スタディログをもとにした

## 多角的なデータ活用・分析による授業改善

## 毎時間の授業理解度/満足度・感想、平均推移の確認

## 授業のフィードバックを簡単に集計！



児童生徒がワークシートなどに記入していた「理解度」や「満足度」の数値を、先生が手作業で集計していた従来の方法に比べ、AARポータルではこれらのデータが自動で集計され、グラフで可視化されます。1単元あたり約45分かかっていた集計作業が、ほぼゼロに！

## 日々の状態把握



## データ分析



まなびポケットダッシュボード機能を活用すると、振り返りの実施状況や、学習データ・生活データ等との相関分析ができるようになります。授業改善にお役立ていただけます。

# 振り返り・情報共有

## | デジタル教材・ツールの学習記録が自動連携



### 取り組み結果を一元管理して 掛け合わせ分析！

複数の教材・ツール毎に、児童生徒の状況やコメントを確認することに手間を感じていませんか？  
AARポータルに接続すれば、まなびポケットのダッシュボード上でそれらの情報を一括で把握可能になります。また、複数アプリのデータを一元管理し、クロス分析を実現できます。

## 保護者への情報共有

### 学校での様子を簡単に共有

児童生徒や教員が撮影した写真や記述した内容をもとに、保護者向けのレポートを作成。  
自動で、児童生徒一人一人のカスタマイズレポートも作成。学級通信を作成する時間・印刷する時間（約40分）がゼロに。



STORY03でご紹介した機能は今後提供予定のため、画面イメージは変更になることがあります。

# 活用初年度のスケジュール

3学期

1学期

1・2・3月

4月

5月

導入準備期

教育委員会

## Point 01 先行導入校の決定

全校導入前に一部の学校で  
先行利用する場合は対象となる  
学校を選びます (p.18参照)

学校管理職

## Point 02 目標・推進体制の検討

導入の目的や目標を設定し、  
推進リーダーとなる先生を決める  
ことで活用を進めやすくなります  
(p.19参照)

## 文書サンプル提供 保護者向け説明

授業中の写真がAARポータル上  
にアップロードされるため必要  
に応じて保護者向けに説明文書  
を配布します

教員



## Point 03 校内検討会

段階的に導入する場合、  
利用する学年・教科・単元  
を検討します (p.20参照)



## 自治体の活用方針に合わせた計画立案の参考としてご活用ください

活用初年度1学期～夏季休業を導入準備期とし、  
2学期からの利用開始を想定したスケジュールとしています。

**Point** … 詳細な解説があります。参照先ページも合わせてご確認ください。

**[内容]** … マニュアルや説明文書サンプルを準備しています。  
詳細はp.23をご確認ください。

### 夏季休業

6月

7月

8月

### 操作習熟期

#### Point04

#### AARポータル 事前設定

時間割の設定が必要です  
30分程度の作業となります  
(p.21参照)

#### 研修資料・動画提供

#### 操作研修会

機能や操作方法、  
具体的な利用場面を  
研修で学びます



#### マニュアル提供

#### 児童生徒向け 説明準備

児童生徒に操作方法を  
説明する準備を進めます

# 活用初年度のスケジュール

2学期

9月

10.11.12月

活用期

教育委員会

学校視察・  
困りごとヒアリング

学校管理職



利用開始

教育委員会との連携

教員

マニュアル提供

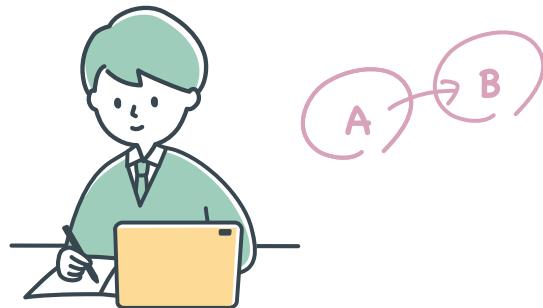
プレ実践

児童生徒向け操作説明後、  
実際の授業で利用します。  
良かった点や課題を  
教員間で共有します

Point 05

振り返り・効果測定

$$1 \ 2 \ 3 \\ + = \%$$



冬季休業

3学期

春季休業

1月

2月

3月

振り返り期

授業見学・学校との意見交換を通して課題や効果を把握します。優良事例は次年度以降活用開始する学校へ共有できるようにします

実践を通して出てきた課題や効果を教育委員会へ共有します

単元ごとや月ごとに振り返りを行い課題や効果を共有します

まなびポケットダッシュボードではAARポータルで振り返りを行った回数を児童生徒や教科ごとに確認することができます（p.22参照）

## 成果の取りまとめ・振り返り

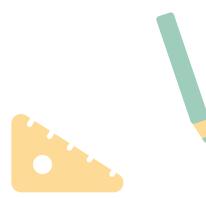
先行導入校の優良事例や成果・課題を取りまとめます。次年度以降利用開始する学校にも役立ててもらうため自治体内に広く展開することがおすすめです

POINT 01

# 先行導入校の決定

段階的に  
導入を進める  
場合

一部の学校を先行導入校として活用をスタートすることもおすすめです。先行導入校での実践を通して出てきた課題や成果を自治体内で共有することも重要です。次年度以降利用開始する学校のスムーズな導入につながります。



## 先行導入校の決定方法

01

### 挙手制

校長会や学校管理職向け説明会等でAARポータルの説明を行い、先行導入を希望する学校を募る方法

02

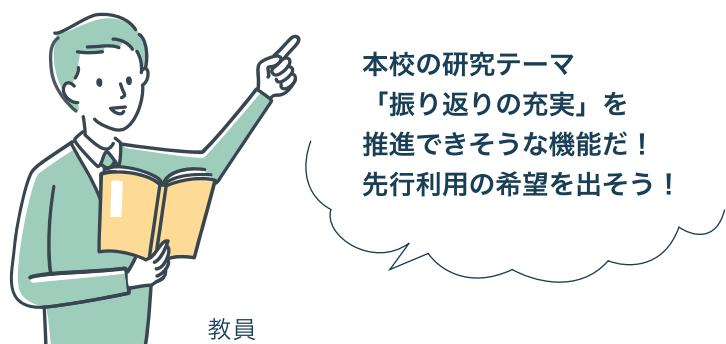
### 指名制

教育委員会にて指名する方法

教育委員会から学校に説明を行う際には、AARポータルの機能説明に加え、以下のような研究テーマと親和性が高いことを伝えると、学校の判断材料となります。

### 親和性の高い 研究テーマ例

- ・振り返りの充実
- ・自己調整学習
- ・探究学習
- ・生徒主体の学習 等



教員

研究テーマやICTスキルの  
習熟度を考慮して指名すると、  
現場の負担を抑えることが  
できそう。

教育委員会



POINT 02

# 目標・推進体制の検討



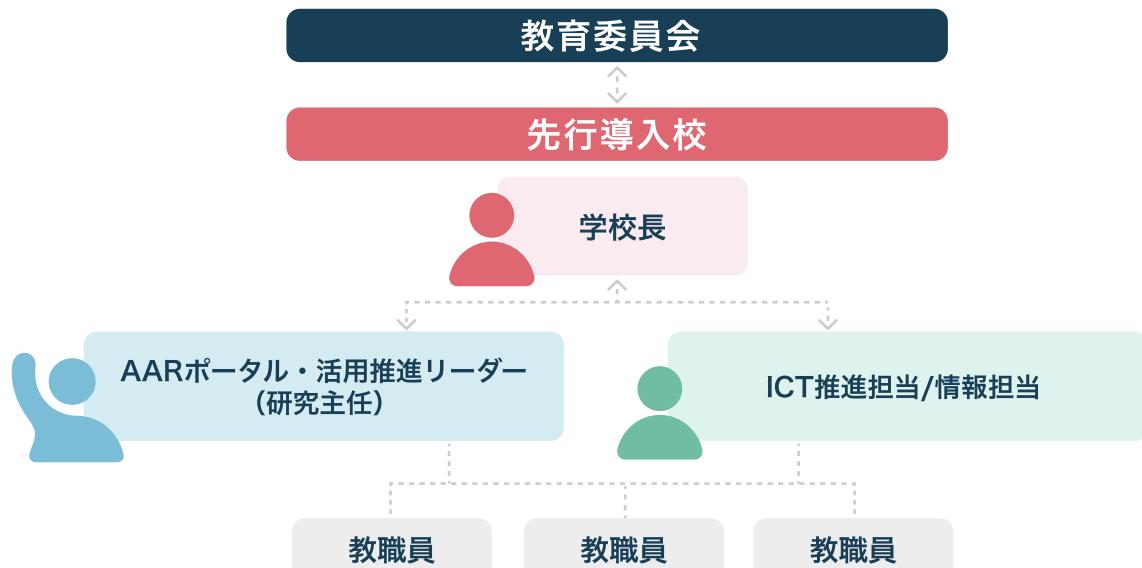
## 目標の設定

AARポータル導入準備期に目標や期待する成果を設定することで、学校での運用計画を立てやすくなります。「全国学力・学習状況調査」や児童生徒質問紙調査の結果等から見えている課題や、先生方が抱えているお悩みを踏まえて設定するのがおすすめです。

	例1	例2
課題	「学習の振り返り活動をよく行っていたか」の問い合わせに対し肯定的な回答をした割合が全国平均より低い…	子どもたちの学習の様子がしっかり把握出来ているのか不安だ…
目標	「振り返り」の定着	教員による見取りの充実
モニタリング指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返り登録数推移</li> <li>・AARポータル活用率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の実感</li> <li>・児童生徒の実感</li> <li>(アンケート/質問紙調査)</li> </ul>

## 活用推進体制づくり

研究テーマに沿って導入を決めた場合、研究主任の先生がAARポータルの活用推進リーダーを担うのがおすすめです。



POINT 03

## 校内検討会

| 導入準備期に決めておくこと



### どの学年で利用するのか

AARポータルは小・中学校すべての学年でご利用いただけます。小学校では、タブレットPCでAARポータルの操作ができるか、各校で定めた約束（他人の顔写真を勝手に撮影しない等）を守ることができるかといった観点でご検討ください。



### どの教科・単元で利用するのか

すべての教科で利用できます。スマールステップとして一部の教科・単元から始めたり、授業時数が多い国語・算数・社会を選ぶこともおすすめです。



### 開始後どのくらいの頻度で校内の情報共有会を行うか

単元が終わった後や月・学期ごとなど、先生方の負担なく継続できるタイミングでご検討ください。



### モニタリングする指標は何にするのか

まなびポケットのダッシュボードで可視化されるデータから選択するのもおすすめです（p.22参照）

POINT 04

# AARポータル事前設定

AARポータルを利用するためには、まなびポケット学校管理者アカウント（※）にて事前設定が必要です。

手順の詳細は操作マニュアルをご確認ください（p.23参照）

## 事前設定手順

### ① AARポータルを使うために機能をONにする



AARポータルを利用する学年を設定することができます。学校管理者アカウントから「ユーザー管理」>「コンテンツ表示設定」を選択し、「時間割機能（AARポータル）」を利用する学年にチェックをつけます。

チェックをつけた学年の先生アカウント・生徒アカウントのまなびポケットホーム画面に「時間割」のアイコンが表示され、利用できる状態になります。

### ② 授業枠の設定



左側メニューから「時間割」機能を選択し、「時間割設定」を押すと、授業枠を任意で設定できるようになる。1週間単位の授業時間の設定や時間枠の増減などを行うことができる。

### ③ 時間割の共有



学校管理者アカウントで授業時間の設定が完了すると、学校管理者アカウントまたは教職員アカウントで時間割の登録ができるようになります。登録した時間割は児童生徒へ共有されます。

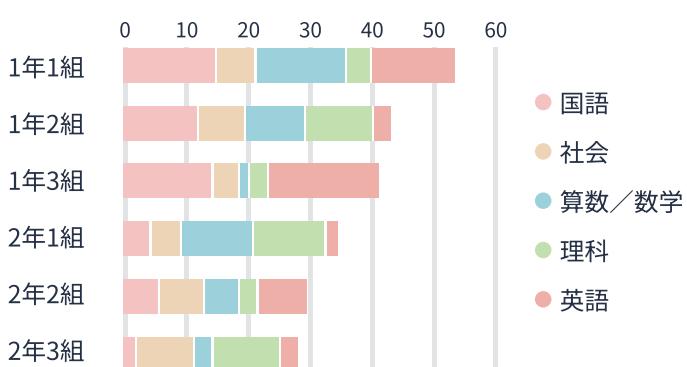
（※）まなびポケットの「学校管理者アカウント」での設定となります。学校管理者アカウントはまなびポケットサービスデスクからメールでお申込者様（教育委員会お申し込みの場合は、教育委員会のご担当者様）へお送りしています。

## POINT 05

# 振り返り・効果測定

まなびポケットの先生ポータル（ダッシュボード）にてAARポータルの活用状況が可視化されます。（※）振り返りの回数が増えているのか、児童生徒の理解度・満足度がどのように変化しているのか、手間なく確認することができます。

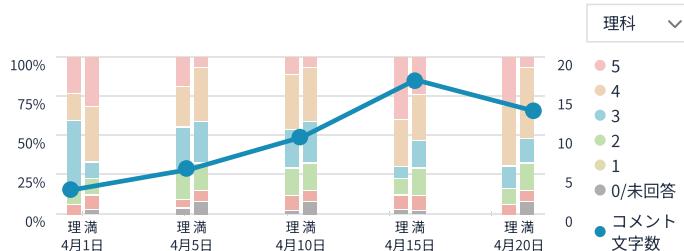
振り返り実施状況



## 学校管理者

学校管理者アカウントでは、学校内の各クラスの状況をまとめて確認することができます

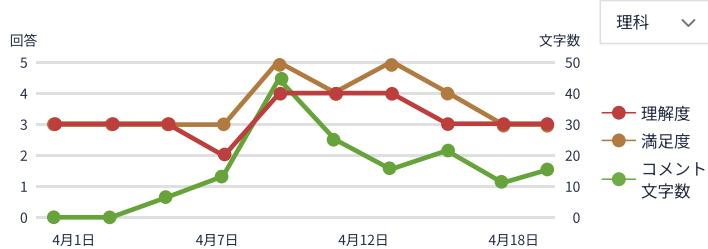
振り返り状況



## 教員

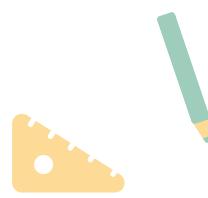
クラス単位で教科毎の「理解度」「満足度」「コメント文字数」の推移が確認できます

振り返り状況



※ダッシュボードでの可視化機能は今後提供予定のため、画面イメージは変更になることがあります。

# 活用サポートツール集



AARポータルの導入・活用をサポートする様々なツールをご準備しています。  
AARポータルサポートページよりご確認ください。

## AARポータル サポートページ



<https://manabipocket.ed-cl.com/support/tips/aar-portal/>

## 活用サポートツールの一例

- AARポータル 操作マニュアル
- AARポータルのはじめ方（動画）
- 児童生徒向け簡易操作マニュアル
- 保護者向け説明文書ひな形

# 教育データの活用で自分らしい学びを支える AARポータルハンドブック

## 発行日

2025年7月（第2版）

## 発行者

NTTドコモビジネス株式会社

スマートエデュケーション推進室



### お問合せ

まなびポケットサポートサイト

<https://manabipocket.ed-cl.com/support/>

